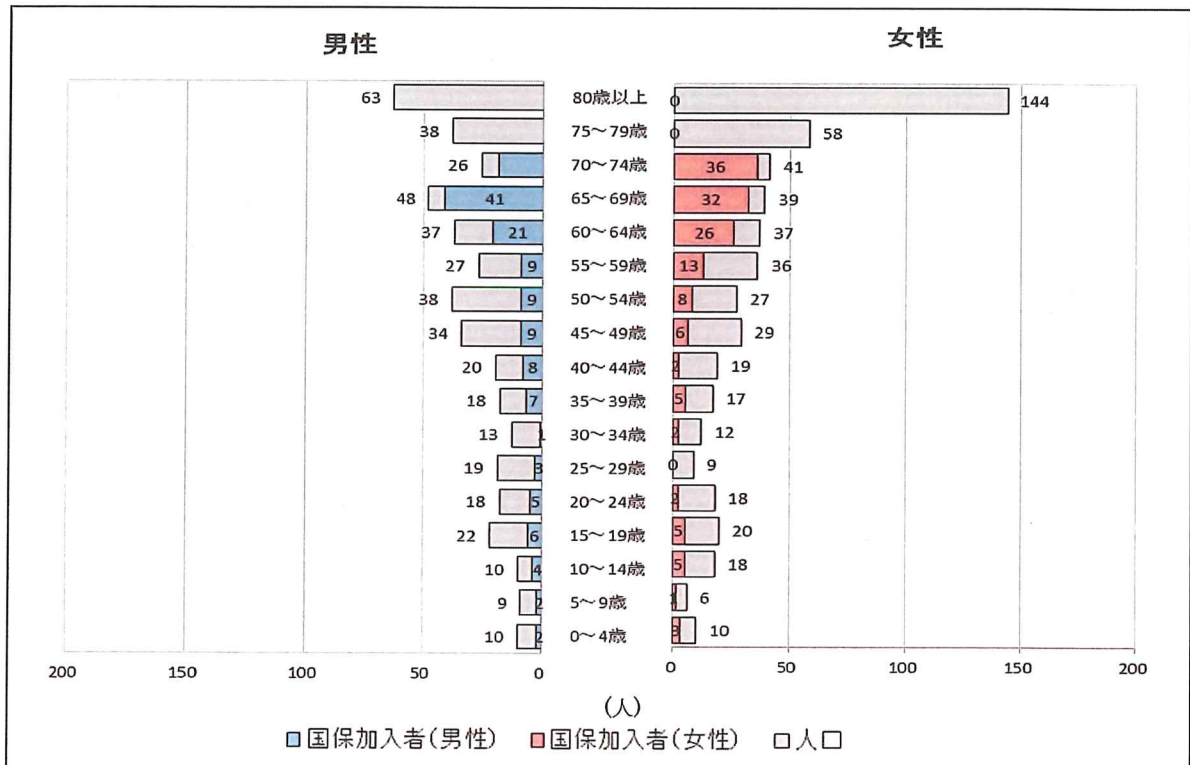


5 国民健康保険被保険者の状況

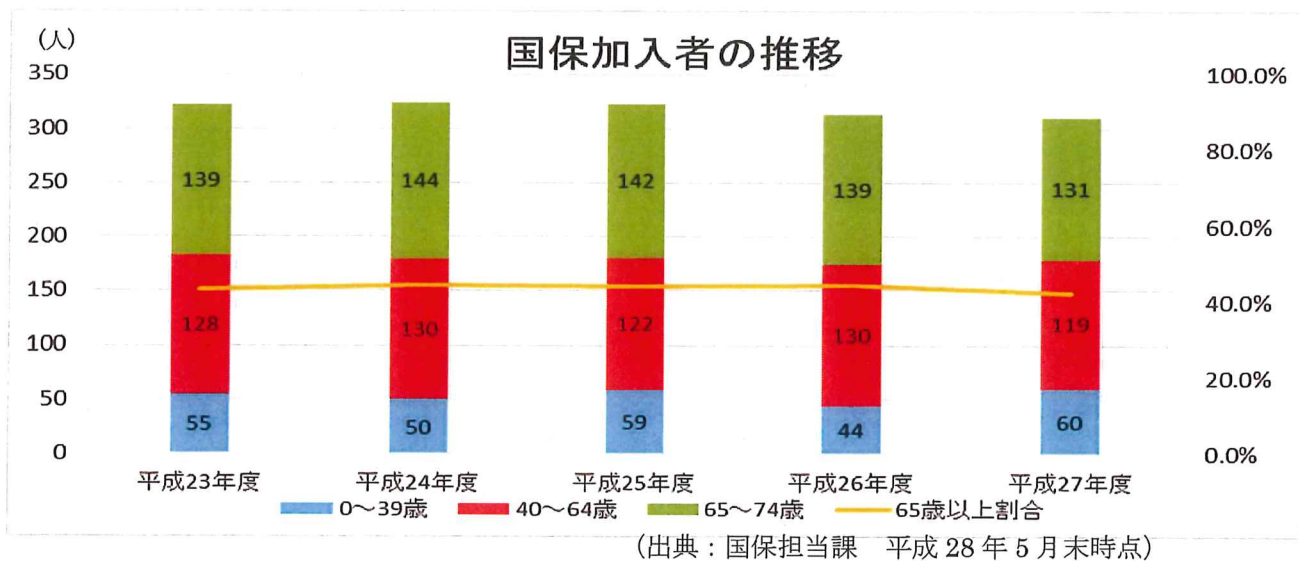
(1) 総人口と年齢階級別国保加入者

下北山村の国民健康保険の加入率は、25.7%と奈良県、国と比較しても大きな差は見られません。しかし、年齢別にみると65歳以上の国保加入者が多く、高齢化の影響があります。



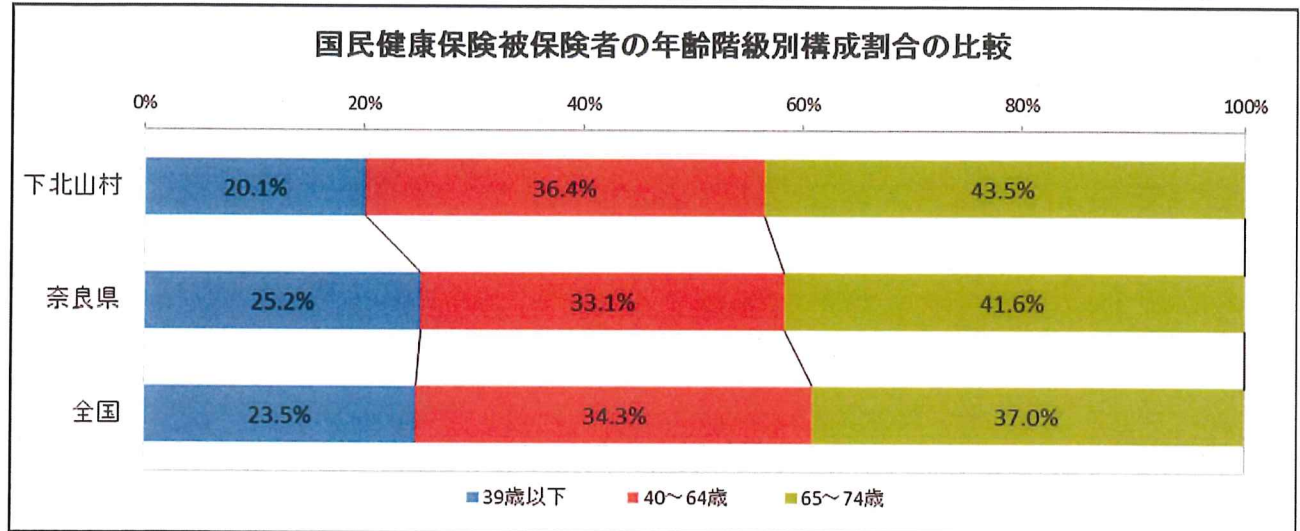
(2) 国保加入者の推移

国保の加入者は大きな変化はみられていません。65歳以上の割合も平成23年度から増減なく、42～43%となっています。



(3) 国保被保険者の年齢構成の比較

	被保険者数	39歳以下	40～64歳	65～74歳	加入率
下北山村	294	20.1%	36.4%	43.5%	25.7%
奈良県	360,386	25.2%	33.1%	41.6%	26.8%
全国	33,767,446	23.5%	34.3%	37.0%	28.8%



(出典：KDB帳票 No.1 地域全体像の把握 平成27年度累計)

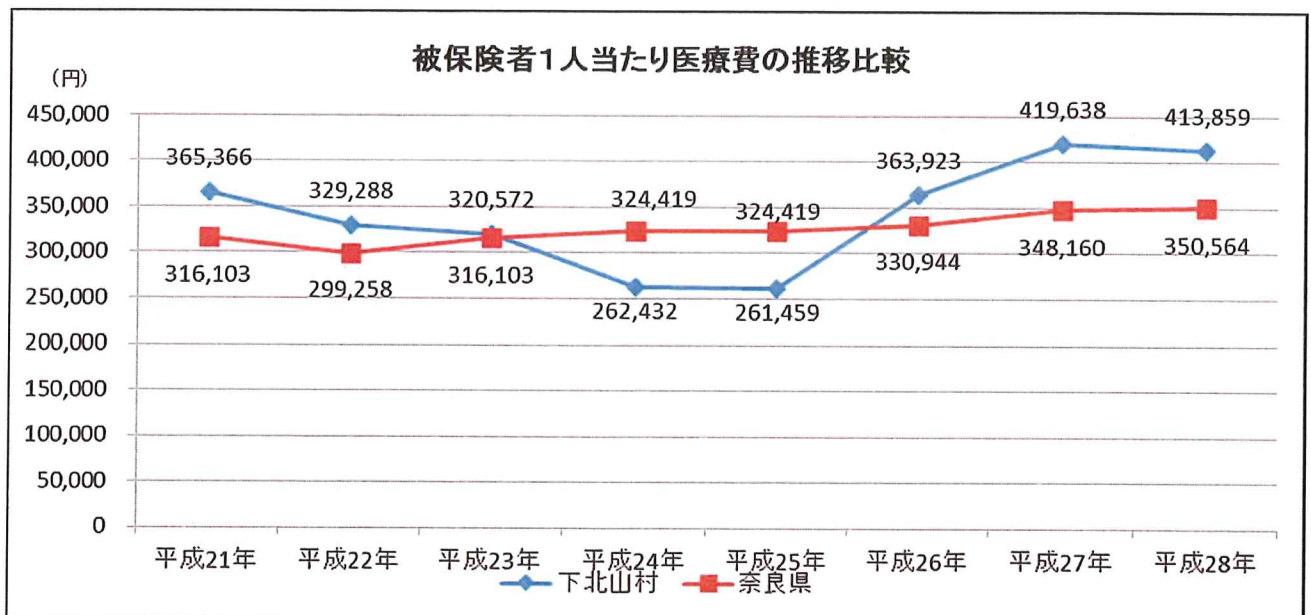
第3章 下北山村の現状分析

1 国民健康保険医療費の状況

(1) 一人当たり医療費の状況

1人当たりの医療費の推移をみると、平成26年度以降、県より多くなっています。

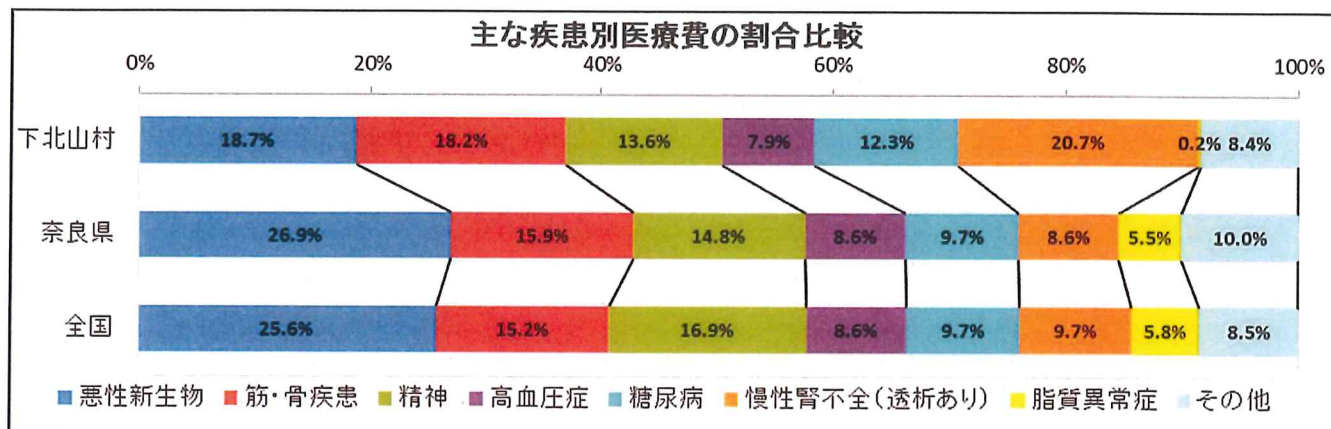
平成27年度以降40万円を超えており、増加傾向にあります。



(出典：国民健康保険事業状況報告書)

(2) 疾病別医療費の割合

医療費の割合を疾患別にみると、奈良県、国と比較して、筋・骨疾患、糖尿病、慢性腎不全が高い傾向にあります。

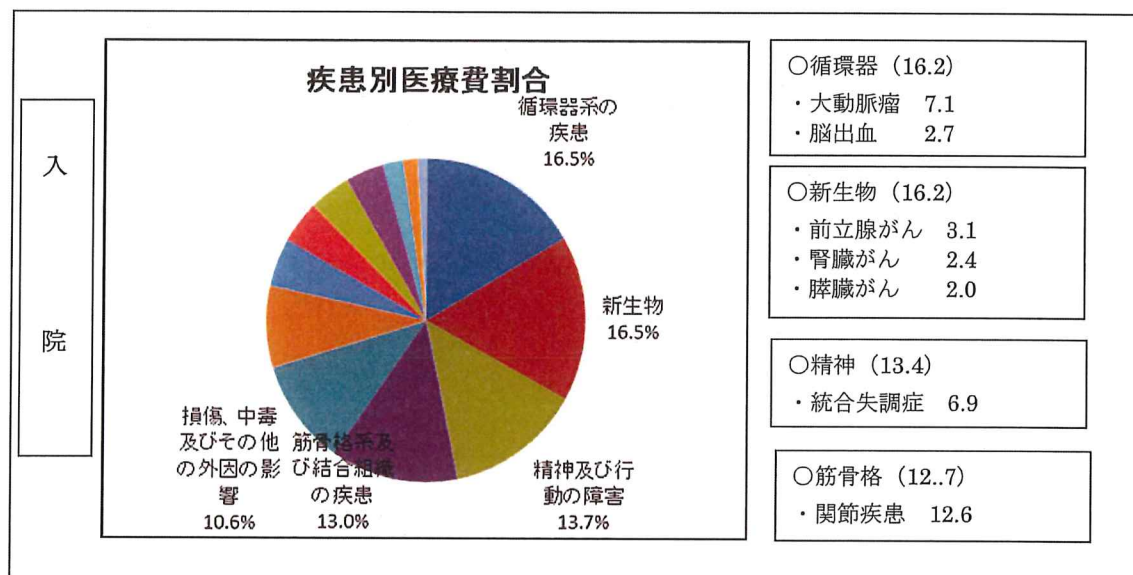


(出典；K D B 帳票 No.3 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題H28 年度計)

(3) 入院・外来医療費（医科）の割合

① 入院医療費の状況

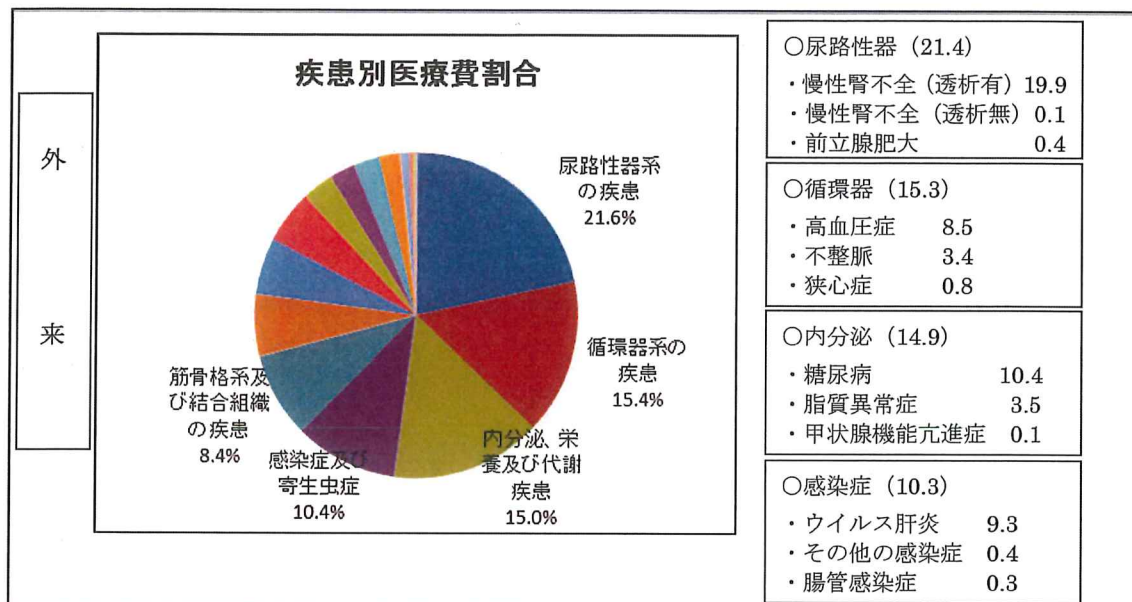
入院医療費については、循環器、新生物、精神、筋・骨格系で約 60%の入院医療費を占めています。



(出典：K D B 帳票 No41 疾患別医療費分析 (大分類) 平成 28 年度累計)

② 外来医療費の状況

外来医療費については、尿路性器、循環器、内分泌の割合が高くなっています。尿路性器の疾患としては、慢性腎不全の透析が医療費の大きな割合を占めています。



(出典：KDB帳票 No41 疾患別医療費分析 (大分類) 平成 28 年度累計)

(4) 生活習慣病の医療状況

① 入院・外来別医療費 (上位 10 疾病)

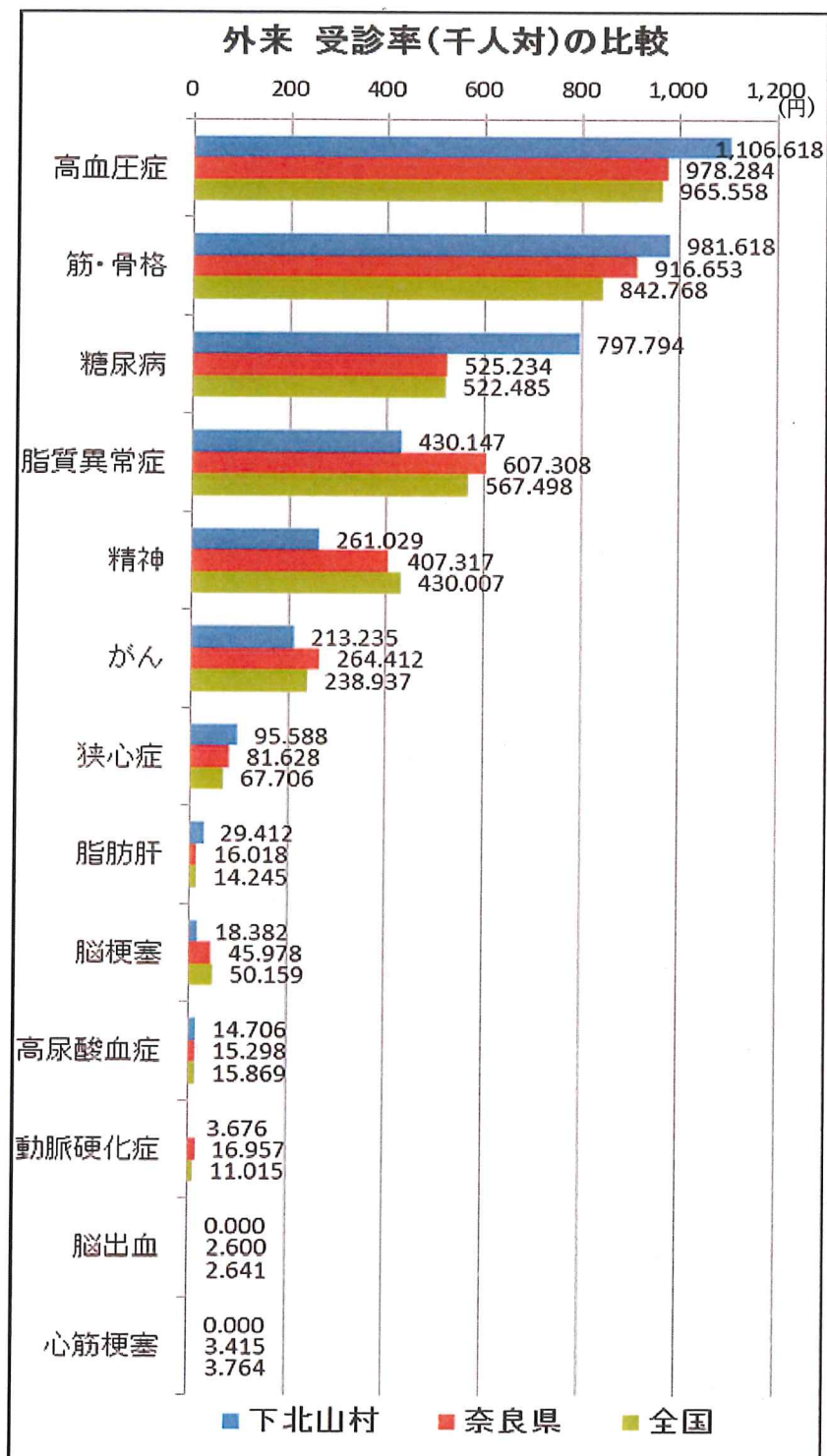
入院医療費点数は、精神、がんが占めています。外来医療費点数は、高血圧、糖尿病、脂質異常症、筋・骨格系の疾病の医療費の点数が高くなっています。

順位	外来医療費点数		入院医療費点数	
	疾病名	医療費(円)	疾病名	医療費(円)
1	高血圧症	1,106.618	精神	58.824
2	筋・骨格	981.618	がん	44.118
3	糖尿病	797.794	筋・骨格	25.735
4	脂質異常症	430.147	糖尿病	22.059
5	精神	261.029	脳梗塞	7.353
6	がん	213.235	脳出血	7.353
7	狭心症	95.588	高血圧症	3.676
8	脂肪肝	29.412	脂質異常症	0.000
9	脳梗塞	18.382	狭心症	0.000
10	高尿酸血症	14.706	脂肪肝	0.000

(出典：KDB帳票 No41 疾患別医療費分析 (大分類) 平成 28 年度累計)

② 生活習慣病の受診率

高血圧、筋・骨格は奈良県、国と比較しても同じように高いが、糖尿病については、県、国の 1.5 倍多くなっています。



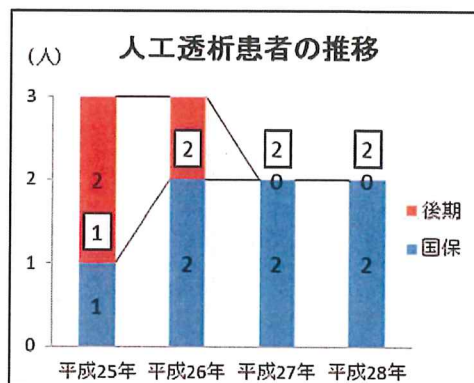
(出典：KDB帳票 No45 疾病医療費分析 (生活習慣病) 平成 28 年度累計)

(5) 透析患者の分析

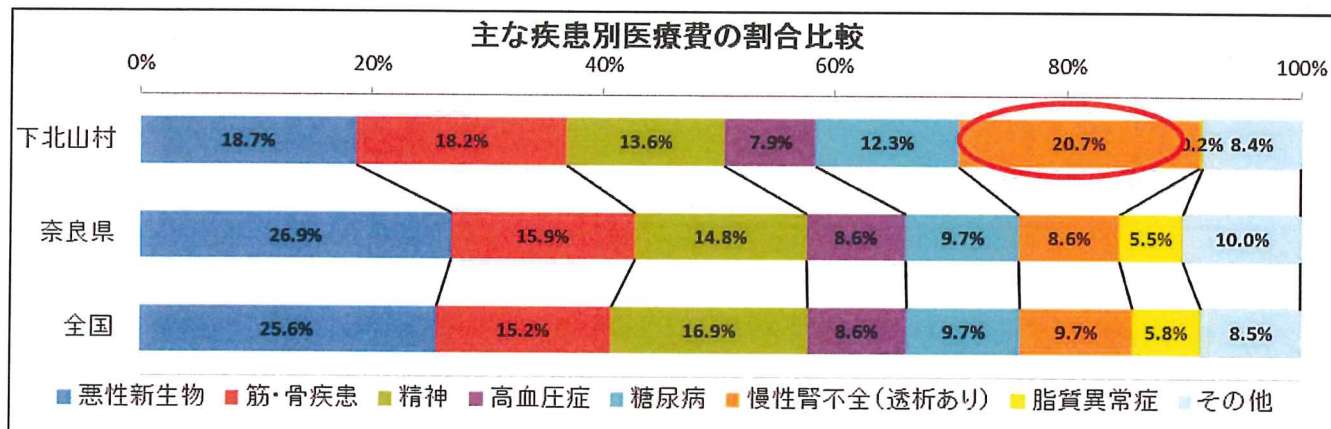
本村では、全医療費に占める人工透析に関する医療費の割合が国や奈良県と比較して高い傾向があります。また、人工透析を行っている患者は平成28年中2名で、74歳までの若い年代で透析治療を開始しており、糖尿病、高血圧を合併しています。人工透析を開始する背景の約半分は糖尿病のコントロールが悪いことで引き起こされる糖尿病性腎症と言われており、早期発見・早期治療と合わせて、重症化予防のための取り組みが重要です。

	外来	医療費
1	慢性腎不全（透析有）	1,139,742
2	糖尿病	810,501
3	高血圧	789,993
4	感染症	545,770
5	筋骨格疾患	444,890

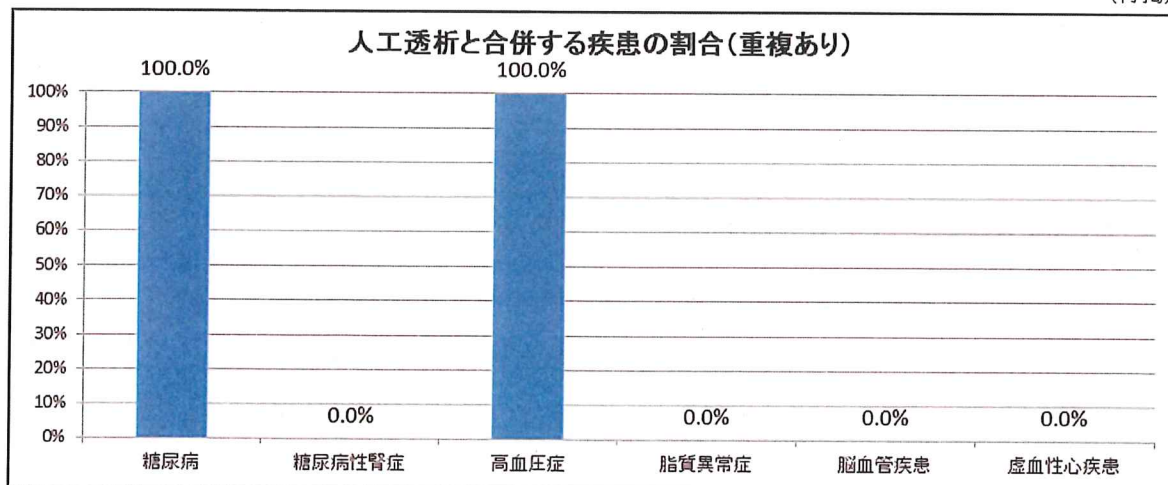
(出典：KDB帳票 No42 疾病医療費分析（大分類） H28年度)



(出典：KDB帳票 No4 市区町村データ各年度累計)



(再掲)

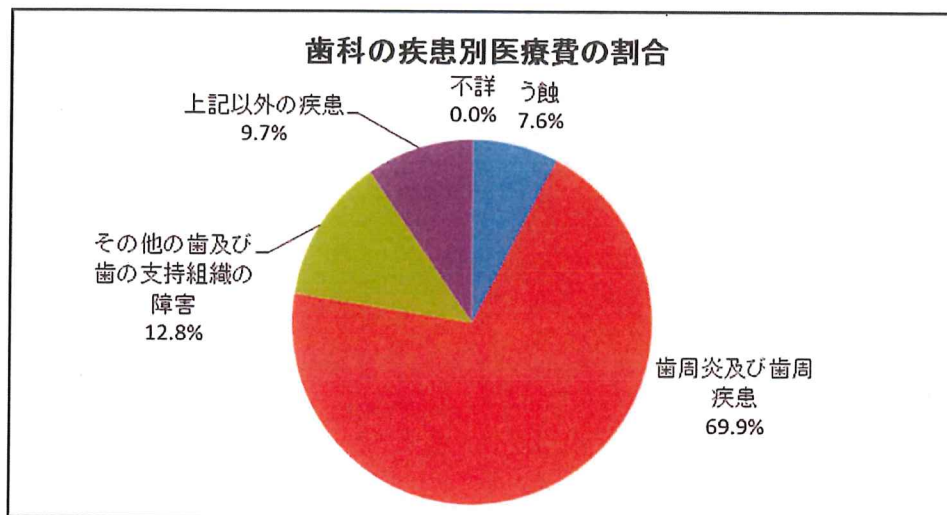


(出典：KDB帳票 No13 厚生労働省様式 (3-7) 平成27年7月作成)

(6) 医療費（歯科）の状況

歯科の医療費は、歯周及び歯周疾患が約 70%を占めています。1 人当たりの医療費及び受診率ともに、奈良県と比較して低くなっていますが、1 件当たりの医療費は低くないため、重症化してから歯科を受診していることが考えられます。

① 歯科疾病分類別診療点数の割合

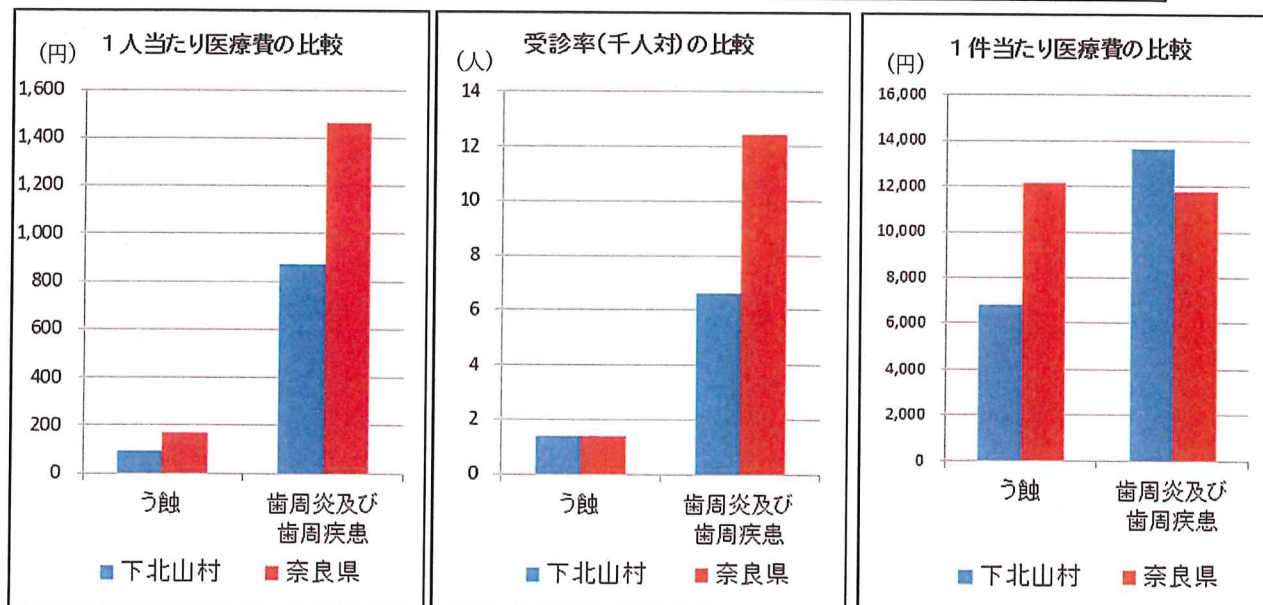


(出典：国保連合会 平成 28 年度 5 月分診療分)

② 一人当たり診療点数（入院、入院外の合計）、一人当たり日数、一日当たり点数

③ 疾病別の受診率

	1人当たり医療費(円)		受診率(被保険者千人対)		レセプト1件当たり医療費(円)	
	下北山村	奈良県	下北山村	奈良県	下北山村	奈良県
う蝕	95.0	170.0	1.400	1.400	6,797.5	12,130.0
歯周炎及び歯周疾患	870.0	1,465.0	6.640	12.440	13,628.9	11,779.1



(出典：国保連合会 平成 28 年度 5 月分診療分)

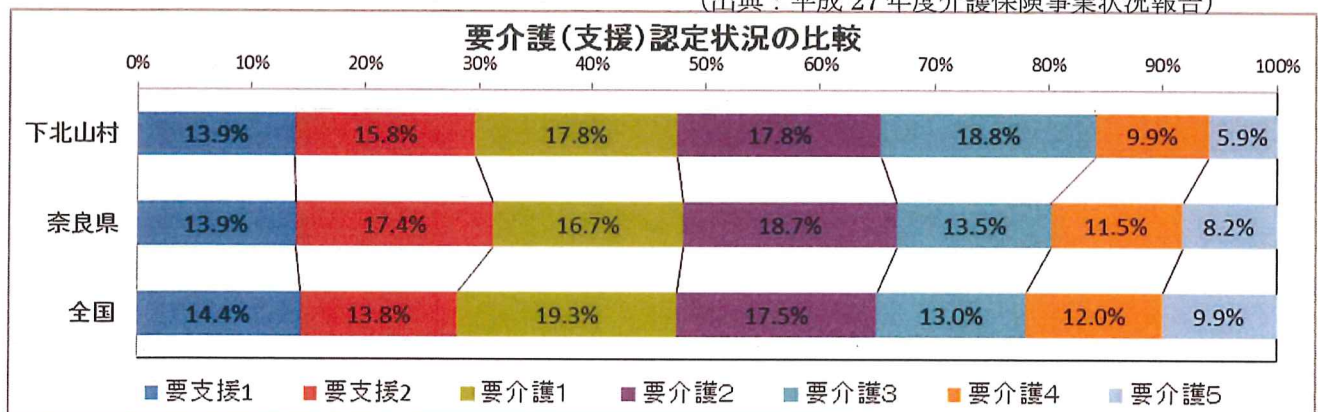
2 介護の状況

(1) 要介護（支援）認定者数

介護度による割合としては、県、国と比較して要介護 3 の割合が高くなっています。一方で、要介護 4 や要介護 5 の認定率は低く、比較的軽度な認定者が多くなっています。

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
下北山村	14 人	16 人	18 人	18 人	19 人	10 人	6 人	101 人
	13.9%	15.8%	17.8%	17.8%	18.8%	9.9%	5.9%	100.0%
奈良県	9,514 人	11,869 人	11,393 人	12,777 人	9,220 人	7,835 人	5,629 人	68,237 人
	13.9%	17.4%	16.7%	18.7%	13.5%	11.5%	8.2%	100.0%
全国	871,351 人	837,658 人	1,170,48 人	1,059,63 人	789,874 人	726,351 人	602,741 人	6,058,08 人
	14.4%	13.8%	19.3%	17.5%	13.0%	12.0%	9.9%	100.0%

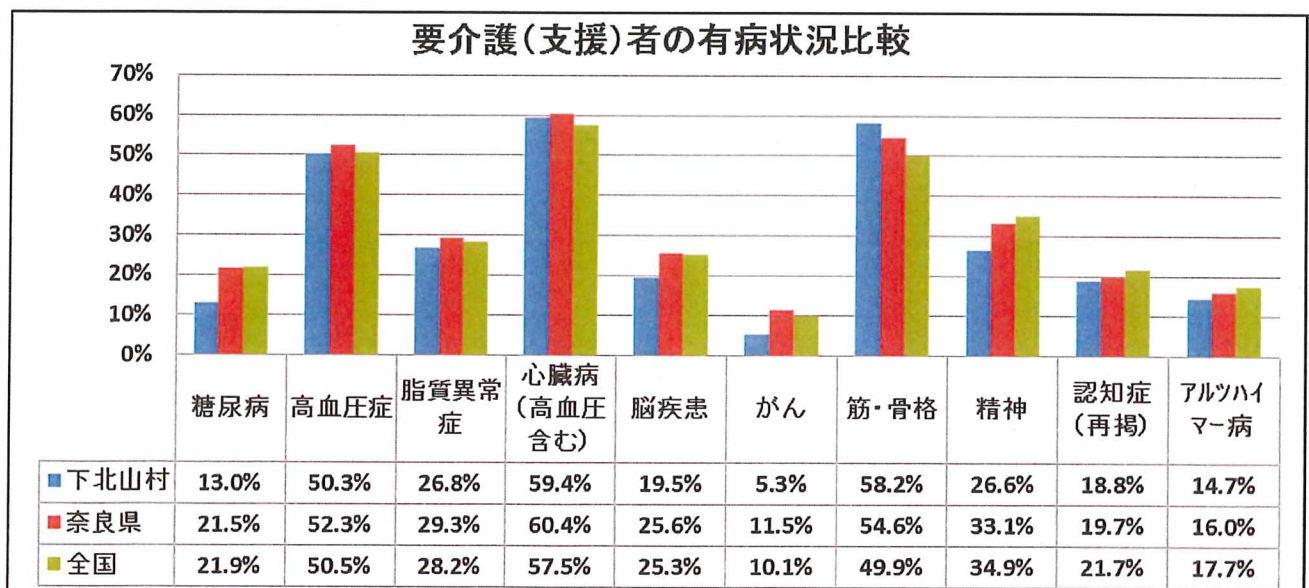
(出典：平成 27 年度介護保険事業状況報告)



(出典：平成 27 年度介護保険事業状況報告)

(2) 要介護（支援）者有病状況

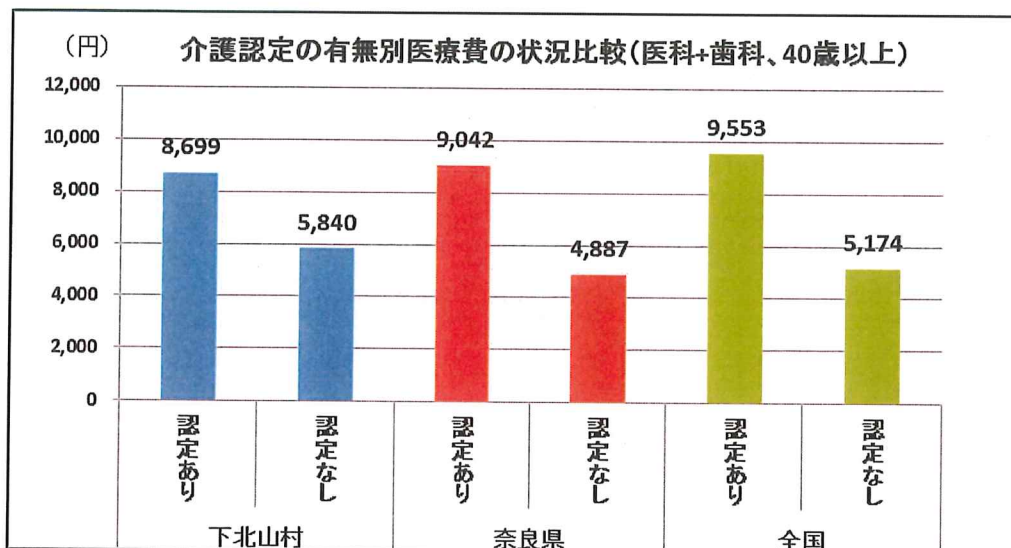
介護認定に至る主な原因としては、心臓病、筋・骨格の順に有病率が高くなっています。



(出典：K D B 帳票 No1 地域全体像の把握 平成 28 年度累計)

(3) 要介護認定別医療費（40歳以上）の比較

40歳以上の要介護認定者の医療費は、奈良県、国と比較すると少し低くなっています。認定を受けていない方の医療費は、奈良県、国と比較すると高くなっています。

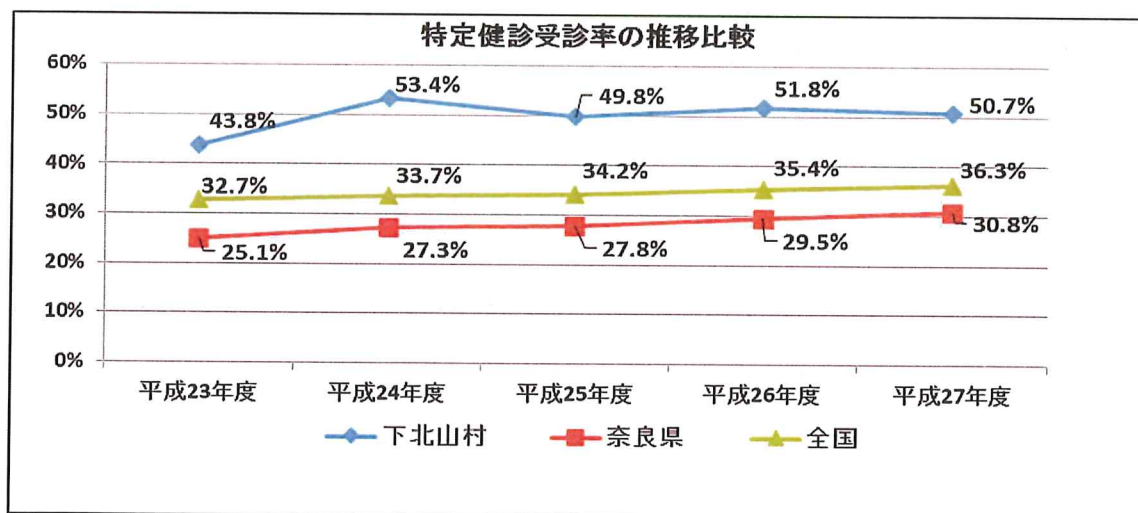


(出典：KDB帳票 No1 地域全体像の把握 平成28年度累計)

3 特定健康診査の受診状況

(1) 特定健診受診率

特定健診受診率は平均約50%と、奈良県、国と比較しても高くなっています。



(出典：特定健診・特定保健指導の実施状況 法定報告)